

## 平成 14 年第 2 回内分泌攪乱化学物質問題検討会議事概要

日時：平成 14 年 10 月 7 日（月） 14：00～16：00

場所：中央合同庁舎第 5 号館 5 階共用第 7 会議室

出席委員：有蘭幸司、井口泰泉、井上達、内山 実、大島康行、奥野泰由、角田禮子、梶野忠、香山不二雄、清水誠、鈴木継美(座長)、住吉好雄、高杉暹、田辺信介、遠山千春、中村正久、花岡知之、宮本純之、森千里、森田昌敏、安野正之、若林明子、和田勝、(敬称略)

事務局：南川環境保健部長、安達環境安全課長、鈴木環境リスク評価室長 他

- 議題：1 内分泌攪乱化学物質に係る環境実態調査結果について  
2 臍帯等における化学物質の蓄積・曝露状況調査について  
3 平成 14 年度に新たにリスク評価に取り組む物質について  
4 その他

## 議事要旨

- 1 平成 13 年度内分泌攪乱化学物質における水環境実態調査結果、平成 13 年度内分泌攪乱化学物質における大気環境実態調査結果、平成 13 年度内分泌攪乱化学物質における野生生物環境実態調査結果、平成 13 年度曝露経路調査結果、今後の内分泌攪乱化学物質における環境実態調査及び実環境における水生生物への影響調査結果等について報告。
- 2 ヒト臍帯等におけるダイオキシン類等化学物質の蓄積・曝露状況調査結果について報告。
- 3 平成 14 年度に優先してリスク評価に取り組む物質として、24 物質について選定し、このうち当面、文献調査・信頼性評価を進める 16 物質を除く 8 物質（ヘキサクロロベンゼン、クロルデン、オキシクロルデン、trans-ノナクロル、DDT、DDE、DDD、ヘキサクロロシクロヘキサン）については、今後文献調査・信頼性評価の結果を参考に動物試験を実施することを検討することとした。

以上